

別記第1号様式(第7関係)

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称	平成30年度 第1回豊島区災害医療検討会議	
事務局(担当課)	地域保健課	
開 催 日 時	平成30年7月13日(金) 午後7時30分～午後9時	
開 催 場 所	池袋保健所 3F 講堂	
議 題	(1) 災害医療コーディネーターの委嘱 (2) H30年度災害医療対策訓練の実施計画及び実施報告 ①豊島区災害医療対策訓練 ②EMIS 訓練 ③二次医療圏災害医療図上訓練 ④その他訓練 (3) 緊急医療救護所用通信機器について (4) その他	
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開      傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由

出席者	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長：大同病院 院長 (区災害医療コーディネーター) 島本 悦次</li> <li>・副会長：池袋病院 院長 (区災害医療コーディネーター) 川内 章裕</li> <li>・要町病院 副院長 (区災害医療コーディネーター) 吉澤 明孝</li> <li>・都立大塚病院 副院長 辻井 俊彦</li> <li>・山口病院 院長 田口 享子 (当日は代理人が出席)</li> <li>・長汐病院 事務部長 留目 忍</li> <li>・としま昭和病院 院長 大部 雅英</li> <li>・豊島区医師会 副会長 関口 更一</li> <li>・豊島区医師会 産婦人科医会会長 小川 隆吉</li> <li>・豊島区歯科医師会 会長 高草木 章</li> <li>・東京都柔道整復師会 豊島支部長 無藤 龍雄</li> <li>・南池袋訪問看護ステーション 厚美 道子</li> <li>・豊島区在宅医療連携推進会議 リハビリテーション部会長 新井田 龍一</li> <li>・東京都助産師会 豊島地区分会 星野 雄子</li> <li>・東京都鍼灸師会 会長 土肥 康子</li> <li>・池袋保健所長 (区災害医療コーディネーター) 佐藤 壽志子</li> </ul>
	その他 行政関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・池袋警察署 警備課長 平綿 良寛</li> <li>・巣鴨警察署 警備課長 清水 敏行</li> <li>・目白警察署 警備課長 吉本 康久 (当日は代理人が出席)</li> <li>・豊島消防署 警防課長 内海 基博 (当日は代理人が出席)</li> <li>・防災危機管理課長 廣瀬 陽一</li> <li>・生活衛生課長 栗原 せい子</li> <li>・健康推進課長 関 なおみ</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健課担当係長 (管理G) 【他2名】</li> <li>・健康推進課担当係長 (保健指導G)</li> <li>・生活衛生課担当係長 (庶務・動物管理G)</li> <li>・生活衛生課担当係長 (医務・薬事G)</li> <li>・長崎健康相談所 長崎健康推進担当係長 (管理・事業G)</li> <li>・防災危機管理課防災危機管理担当係長 (地域防災) 【他1名】</li> </ul>

## 審 議 経 過

### 1. 災害医療コーディネーターの委嘱状交付

高野豊島区長より以下3名に交付

大同病院 院長 島本 悦次

池袋病院 院長 川内 章裕

要町病院 副院長 吉澤 明孝

高野区長より挨拶

本検討会議は災害医療体制を前進・強化するために発足したもので、地域の医療関係者の方々にお力添えをいただいている。

先日の西日本の豪雨の被害について、都からの要請に応じて区からも2名の職員を派遣している。今後も都と連携し、西日本を可能な限り支援していきたい。

また大阪北部の地震によるブロック塀倒壊を受け、豊島区でも区内のブロック塀を点検し、4か所を改修するに至った。大規模な地震に備えて、区でも設備面の補強を行ってきたい。

今後も大規模災害に備えて、本検討会議を通して体制強化を図っていききたいので、委員の皆様には引き続きお力添えをいただきたい。

### 2. 各委員の自己紹介（資料1及び2）

### 3. 議事

#### （1）平成30年度災害医療対策訓練の実施計画及び実施報告

区より説明（資料3）

7月7日に実施したトリアージ訓練の実施報告、図上訓練及び緊急医療救護所立ち上げ訓練の実施予定について報告した。

委員 62名という大勢の参加者が良い実地経験を積むことができたと思われる。

10月に区の総合防災訓練もあり、医師会からも参加を予定している。

H31の3月に医師会で防災講演会を予定しているので、皆様にご出席いただきたい。

#### （2）平成30年度EMIS訓練及び二次医療圏災害医療図上訓練について

区より説明（資料4及び5）

今年度EMIS（広域災害救急医療情報システム）を用いた訓練を2回実施することも報告した。

また今年度は豊島区を含む区西北部保健医療圏の訓練を行う旨も報告した。

- 委員 EMIS という言葉の認知度は高くないので、周知徹底するよう働きかけるべきだ。
- 委員 都としては全病院に EMIS を導入する予定のようだが、その旨をきちんと通知して欲しい。
- 委員 「EMIS」という言葉は区民だけでなく、委員にとっても共通言語ではないので、より分かりやすい表現をしなければいけない。

### (3) 区の総合防災訓練について

区より説明

10月21日(日)午前9時～ 朋友小学校及び池袋本町小中連携校で予定。  
詳細については後日連絡する。

### (4) 緊急医療救護所用通信機器について

区より説明(資料6)

災害発生時に緊急医療救護所の連絡手段として用いられているイエデンワのサービスが平成32年7月に終了する。また16の病院に導入している救援無線も繋がり辛い  
ため、代替の手段を現在検討している段階である。

委員 今後区から代替手段について、区から連絡があるということでよいか。

区 現在インターネット回線を利用した連絡手段を検証している。そうした新しいシステムを無線などに入れ替えていくよう調整していく。

### (5) その他

区より説明

区としては西日本の豪雨被害に際して、豊島区と協定を結んでいる愛媛県内子町、岐阜県関市が被害に遭っている。それらの協定都市と連絡を取り合っているが、現時点では支援を要する程度には至っていない。

豊島区では住宅被害の調査、罹災証明の発行について先駆的な取り組みを行っており、それらに長けた管理職を2名、岡山県倉敷市に派遣している。今後も区として派遣体制を構築し、西日本の避難所運営の支援を行っていく。

委員 都立大塚病院は災害拠点病院であるため、災害時に大勢の患者を受け入れることになるが、他の病院の方々にもお力添えいただく事になる。この会議を通じて課題を検討していき、訓練等にも積極的に参加し、災害時の体制強化を行っていきたい。

※ 審議経過の記載が2頁以上にわたる場合は、右肩にNo.を付す。

提出された資料等	<p>資料 1 豊島区災害医療検討会議委員名簿</p> <p>資料 2 豊島区災害医療コーディネーター名簿</p> <p>資料 3 平成 30 年度豊島区災害医療対策訓練実施計画・実施報告</p> <p>資料 4 30 年度防災通信訓練の実施について</p> <p>資料 5 二次保健医療圏・災害医療図上訓練</p> <p>資料 6 緊急医療救護所用通信機器（イエデンワ）について</p>
----------	--